

# 福山港港湾計画資料

－ 軽易な変更 －

平成 26 年 2 月

福山港港湾管理者  
広 島 県

## 目 次

1. 変更理由	1
2. 港湾施設の規模及び配置に関する資料	2
2-1. 小型船だまり計画	2
3. その他の資料	4
3-1. 環境の保全に関する資料	4
3-2. 地方港湾審議会名簿	5

## 1. 変更理由

一文字地区において、近年のプレジャーボートの大型化に対応し、適切な放置艇対策施設を確保するため、小型船だまり計画を変更する。

## 2. 港湾施設の規模及び配置に関する資料

### 2-1. 小型船だまり計画

#### (1) 小型船だまり計画の変更の必要性

近年のプレジャーボートの大型化に対応した適切な施設計画に変更し、放置艇の解消を図る。

#### (2) 収容隻数

「福山港地域プレジャーボート係留保管計画(平成 24 年 3 月 広島県)」に基づき計画した収容隻数は、次のとおりである。

表 2-1-1 収容隻数

地区名	船舶種類	変更前	変更後	備考
一文字地区	プレジャーボート	450 隻	448 隻	対象船型の変更に伴う配置計画の見直しにより、収容隻数を変更する。

#### (3) 小型船だまり計画の規模及び配置

今回計画する小型船だまりの施設の規模及び配置の考え方は次のとおりである。

表 2-1-2 今回計画する小型船だまりの規模

地区名	船舶種類	施設の規模	施設の規模の考え方
一文字地区	プレジャーボート	泊地(-1.5m)面積 4.0ha 【既設】 防波堤 470m 【既設】 小型栈橋 14 基 【既設の変更計画】 埠頭用地 0.5ha 【既設】	船型の収容に必要となる 栈橋の所要延長により設定。 配置計画の見直しの結果、 栈橋基数を変更する。

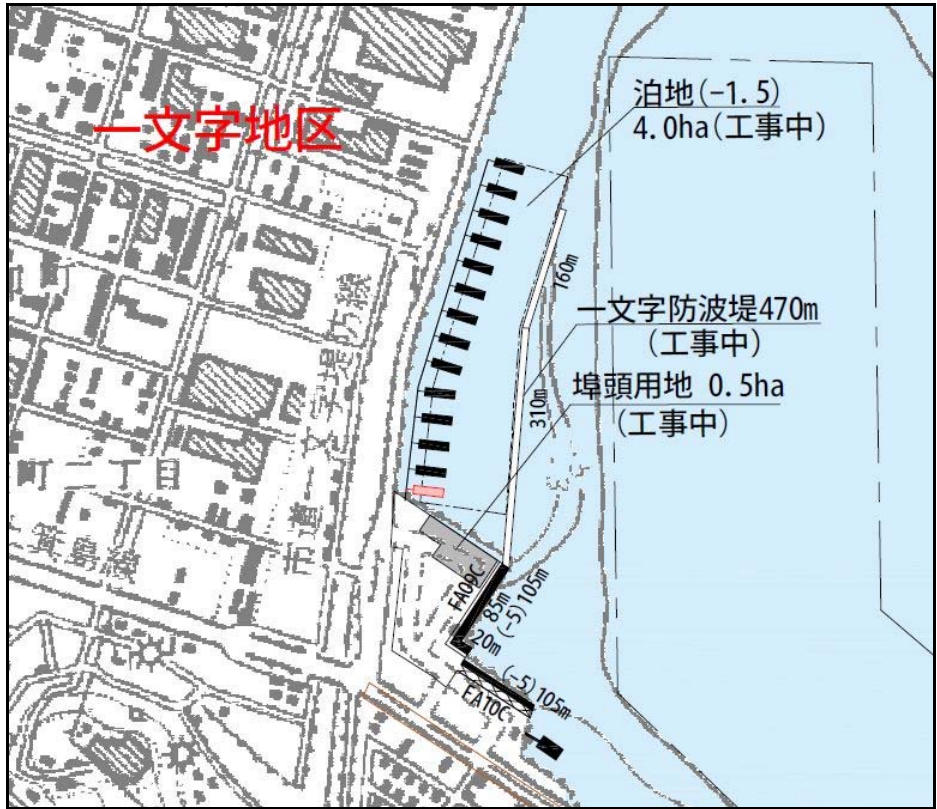


図 2-1-1 小型船だまり計画図

### 3. その他の資料

#### 3-1. 環境の保全に関する資料

今回の計画変更は栈橋基数を13基から14基に変更するものであり、環境に及ぼす影響は軽微なものと考えられる。

### 3-2. 地方港湾審議会名簿

#### 広島県福山港地方港湾審議会委員名簿

(平成26年1月15日現在) (敬称略順不同)

区分	氏名	所属
学識経験者	梅田眞三郎	福山大学工学部教授
港湾関係者	岡本信也	備後海運協同組合代表理事
	喜多村久至	広島県倉庫協会備後部会
	福田耕造	中国地方港運協会福山支部支部長
	弓場丞	尾道地区旅客船協会会長
	荻山淳	全日本海員組合尾道支部長
	木島博正	JFEスチール(株)西日本製鉄所(福山地区)総務部長
	岡崎一美	鞆の浦漁業協同組合組合長
県議会議員	宇田伸	広島県議会議員
	松岡宏道	〃
市議会議員	徳山威雄	福山市議会議員
	池上文夫	〃
国の関係行政 機関の職員	坂中日出夫	福山税関支署長
	中島尚子	広島検疫所福山出張所長
	恵良幸春	中国運輸局尾道海事事務所長
	栗田悟	中国地方整備局長
	伊藤敦史	福山海上保安署長(福山港長)
県職員	加藤雅啓	土木局空港港湾部長
市職員	羽田皓	福山市長

(計19名)